

対談
風の人・土の人・山の人

この浮田地区に移り住んでいらっしゃる方々にお集り頂き座談会を開催しました。それぞれが不安と希望を胸に暮らす中で、本音が聞ければ、またこれを機会に交友が広がれば、と思います。

進行

- 肥田 葉子さん (上浮田)
- 大上 あゆみさん (中内)
- 高野 菜美子さん (上浮田)
- 渡辺 弘幸さん・郁美さんご夫妻 (中内)
- 山本 実紀さん (毒沢)
- 佐々木 哲哉さん (上浮田)
- (以下/敬称略)

●肥田



今回の座談会をきっかけに、新しく来た人同士や地域とが、もつと繋がり合えたらと思っておりますので、まずはざっくばらんに、皆さん

が浮田地区に住まいして感じたことや、ご自身の今後の抱負などをお聞かせください。



ここは空気がきれいですね。頂いた天然なめこや林檎など、食べ物が美味しくて。春の桜や秋の紅葉を近所で楽しめる所も魅力です。



私は以前からドライブがてら浮田を通りかかって「ここは良い所だなあ」と思っていたので。家も畑も広くて。主人の念願が叶って、裏の畑で野菜作りを始めています。小玉スイカが上手に出来たのが嬉しかったですし、他にはジャガイモ・きゅうり・トマト・オクラ。これからの季節は大根や白菜を鍋にして食べるのが楽

しみ。いつか、薪ストーブをやるのも夢です。



自伐型林業を生業として里山で働く暮らしが出来ればと思っているのですが。山付き畑付きのログハウス風の家とご縁があつて。今の生活費は市街地で暮らした時の半分で済んでいます。不便は感じませんね。

○郁美 北上駅前のマンションでの生活は便利でしたが私たちには合わなかったんです。IHが苦手でカセットコンロ生活を1年間位続けていました(笑)。



私は自分で羊を飼うことをきっかけに今の家へ。羊飼いつて言うことやっぱり10頭とか20頭以上でしょ、っていう考えがあるので(笑)。羊2頭と暮らしています。会社務めしていた時に、羊の毛を商品化する企画の仕事をしていました。今もその仕事をしています。

○佐々木 私、今、履いてます。山本さんの靴下。いいですね。

○山本 自分が出ることややって成り立つ小さな暮らしを、と思つているので。

○弘幸 いいなあ。●肥田 素晴らしい！皆が行きつきたい暮らし方なんじゃないかな。

○山本 細々と、ですよ。東和町は景色が良いし、ここは本当に空が広くて。それが気持ち良くて。



●肥田 僕は岩手が好きで、盛岡中津川では街中で鮭が産卵している姿が見られる所なんかも好きで。また東和町は農業や芸術面など面白いことをやっている人が多い。僕はこの辺ではあまり作られてない蓮根作りを始めて5年なんです。今日も秋じまいに追われていました。田んぼもやっていますが少しなので、実紀さんみたいに田んぼと暮らしてます。つてこれからは言おうかな。

で考えてなさってるんですか。

○佐々木 はい。自分で探して販売して。飲食店とかイベントとか自然食品店などに置かせてもらってます。

○肥田 さてそれでは次に、この地区への希望とか、心配されてる事とかありますか。

○大上 地域に子どもが増えて子ども会が盛り上がるとうれしいです。

○佐々木 たしかに。自分が子供の時と比べると、歩いて遊びに行ける距離に同級生がいなのがちょっと。スクールバスなので、学校帰りに寄り道も出来ないし(笑)。

○大上 バスといえば、数年前までは走っていたらしいけれど。今は車を持たないという所にも行けないので。もつと気軽に呼べるタクシーやバスがあれば皆がもつと集まれるようになると思うんですが…。



私は子育てについて。子どもが病気になった時など、

主人は勤務なので、一人で抱え込んでしまいがちになって。そんな時に近所の子育ての先輩や保健師さんに話を聞いてもらえると不安や孤独感が解消されると思う。市がやっている保健師さんの訪問も産後だけでなく、もう少し子供が大きくなるまでやって欲しい。

●肥田 お電話くだされば、いつでもお話を聞きますよ。でも自分からは中々言いにくいものだから、そういう環境や仕組みを整えれば良いですよ。

○山本 私は、山に葛や藤づるがどんどん伸びて広がっているの、「ここはどうなっちゃうんだらう」って心配な場所が沢山あって。「自分に出来ることは何だろうか」って思っています。

○弘幸 そうやって山に光が入らなくなれば荒れていき、木が成長しなくなる。絡まったつるに引っ張られて木が倒れたり、災害に繋がることもある…。

●肥田 どうして山がそういう状態になっているんでしょう。

○佐々木 材としても安いし、薪を使う生活が減ってきていることも影響してるかも。

○山本 浮田コミュニティは、煙突のある村づくり事業とか、煙突倶楽部の活動があったりして。薪をしようという動きがある地域なので、楽しみだなあと思っています。

○佐々木 旅行していた時に「癒や空気がきれいだなあ」と感じてた東和町に実際に住んでみると、山の管理や耕作継承者のことなど課題があることも分かってきて、本当に考えていかないと…。

●肥田 本当にここは空気も食べ物も美味しくて、「田舎暮らしは楽しいよ」というのを見せていけたらいいなと思っていて。一方では、佐々木さんや皆さんがおっしゃる課題もあるという…。人が暮らしている事での自然であったり風景がある、ということですね。

持続する地域でありたいものです。今後は色んな人を巻き込んで話し合いを持ちたいですね。

(一部割愛致しました)

●本日(12月1日)の対談で、一様にこの田舎暮らしを楽しんでいらっしやる様子がかがわれました。皆さん、本当に有難うございました。

太極拳教室 開催

11月に4回、浮田振興センターで太極拳教室が10名の参加で開かれました。花巻市在住の高橋セイ子氏を講師にお迎えし、日頃から頑張っている身体をいたわりながら、ゆっくりと穏やかにほぐしました。



「動きが激しくなくないので、関節に負担がなく楽しく動けた」。「体が軽くなつた」。「皆と合うのが楽しい」という声が聞かれました。講師からは、「窓から見える浮田の景色が心を落ち着かせ、太極拳によく合う。皆さんの雰囲気もよく私も楽しみながら行えました」家庭でもゆったりと太極拳をお楽しみください。(美)

リレー エッセー

ダイヤとルビー

私達は結婚していつの間にか結婚式を目前にする年になりました。私は、結婚した時に男の子が生まれたらダイヤ、女の子が生まれたらルビーと名前を付けようという夢を持っていました。そして、長男にはダイヤという名前を付けました。子どもも巣立った頃に犬を飼うことになり、犬の名前を「ルビー」と命名し、私の夢はこの時叶いました。それからというものは、農作業の時も旅行も一緒。ルビーを中心に会話が弾み、家の中はいつも笑い声。夜も蒲団に入れての腕枕。そんなルビーも寄る年波と共に次第に弱り、ついにルビーは息を引き取り、家族3人はしばらく悲しみを噛みしめながらの切ない別れを体験しました。沢山の思い出をもらった、それはそれは楽しい十五年でした。(石持 佐藤 俊一)

ゆるゆると

カントリーヘッジ (羊の生垣)

ツノハシバミは樹木図鑑で見たことはあった。実を包んでいる苞の形がおもしろいな…と思っはいた。が、この秋、初めて枝についているツノハシバミの果苞を見て、想像していた以上の大きさ、ピロッドのような光沢のある刺毛の風合い、長くくちばしみたいなのが独特の形にびっくりしつつ嬉しい心持ちになった。

おいしい木の実ハシバミは実から育てた苗を草地の柵まわりに植えてきた。その実が今年はおの手のいっぱいに収穫。一方、昨秋バケツに何杯も拾えた鬼胡桃は今年20個ほど。胡桃の樹の根元で見つけたリスが食べたあとの殻も少なかった。

ツノハシバミもカントリーヘッジに仲間入りさせたい。きつとりリスも喜ぶ。刺毛のちくちくする果苞から実を取り出し、苗作りの準備。リスと出会える機会の増えることを希いつつ。(山本 実紀)

